

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

〈目 次〉

- ・ 理事会報告
 - (1) 第 20 回大会（千葉大会）について
 - (2) 第 20 回大会・課題研究について
 - (3) 第 20 回大会・20 周年記念国際シンポジウムについて
 - (4) 第 20 回大会・公開シンポジウムについて
 - (5) 第 20 回大会プログラムについて
 - (6) 第 19 回大会報告について
 - (7) 「投稿にあたっての注意」の改訂について
 - (8) 各種委員会報告
 - (9) その他
- ・ 事務局からのお知らせ

— 〈 理事会 報告 〉 —

[2009 年 3 月 8 日(日)午後 1 時 30 分～4 時 20 分 (於) 東北大学東京分室]

定例の理事会が 3 月 8 日(日)午後 1 時 30 分から 4 時 20 分まで、東北大学東京分室で開催されました。理事 23 名、オブザーバーとして第 20 回大会準備委員会の青柳康之会員（千葉カリキュラム学会）、および事務局 3 名が参加しました。代表理事の挨拶に続き、下記の議題を審議・決定いたしました。

（1）第 20 回大会（千葉大会）について

第 20 回大会準備委員長の天笠茂理事より、開催準備状況、大会スケジュール、案内および研究発表の募集について報告がなされ、承認された。また自由研究発表者については連名を含め会員資格を有する者とする事が確認された。

（2）第 20 回大会・課題研究について

研究委員会委員長・豊田ひさき理事より課題研究の構成について説明があった後、各課題研究の世話人より人選、設定趣旨等の説明が行われ、承認された。

① 課題研究 I

テーマ：学習指導要領の基準性を問い直す（3）

司会者：八尾坂修（九州大学）・未定

提案者：安彦忠彦（早稲田大学）・若月秀夫（品川区教育長）・坂本孝徳（学校法人鶴学園なぎさ公園小学校）

指定討論者：天笠茂（千葉大学）

② 課題研究Ⅱ

テーマ：カリキュラム研究におけるヒドゥン・カリキュラムの位相 (3)

司会者：豊田ひさき (中部大学)・長尾彰夫 (大阪教育大学)

提案者：澤田稔 (名古屋女子大学)・松下佳代 (京都大学) 他

③ 課題研究Ⅲ

テーマ：「活用」の育成とカリキュラム研究

司会者：根津朋実 (筑波大学)・田中耕治 (京都大学)

提案者：浅沼茂 (東京学芸大学)・堀哲夫 (山梨大学)・高尾明博 (香川大学教育学部附属高松小学校)

指定討論者：砂田信夫 (京都市総合教育センター)

(3) 第20回大会・20周年記念国際シンポジウムについて

20周年記念事業実行委員長・田中統治理事より、20周年記念国際シンポジウムについて下記の提案がなされ、承認された。またこのシンポジウムは公開とすることが承認された。

テーマ：「日中韓のカリキュラム研究の成果と課題—日本カリキュラム学会創設20周年記念シンポジウム」(仮)

司会者：未定

シンポジスト：钟启泉 (華東師範大学)、馬雲鵬 (東北師範大学)、許スク (京仁教育大学)、鄭栄根 (教育課程評価院)、安彦忠彦 (早稲田大学)、水原克敏 (東北大学)

(4) 第20回大会・公開シンポジウムについて

公開シンポジウム (世話人は天笠茂理事) のテーマとして「小中連携・一貫とカリキュラム開発」を予定している。司会者、シンポジストは交渉中。

(5) 第20回大会プログラムについて

大会開催校の千葉大学・天笠理事より、資料に基づき、日程について、前回理事会の承認事項につき一部修正の提案があった。

2009年 7月10日 (金)	17:00~19:00	理事会
7月11日 (土)	10:00~12:00	課題研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	12:00~13:00	昼食
	13:00~15:00	自由研究発表Ⅰ
	15:15~ (17:45)	公開シンポジウム
	(17:30) ~19:30	懇親会
7月12日 (日)	10:00~12:00	自由研究発表Ⅱ
	12:10~12:50	総会・昼食
	12:50~13:30	休憩
	13:30~16:30	20周年記念国際シンポジウム

7月11日の公開シンポジウムから懇親会にかけて時間が重複しているのは、懇親会会場の使用時間との兼ね合いであり、引き続き大会日程の調整を行うこととした。

(6) 第 19 回大会報告について

前回大会校の村川雅弘理事より、日本教育学会『教育学研究』に掲載する日本カリキュラム学会第 19 回大会の報告について資料に基づき提案がなされ、一部修正の上承認された。

(7) 「投稿にあたっての注意」の改訂について

紀要編集委員会・臼井嘉一委員長および的場正美副委員長より、『カリキュラム研究』巻末にある「投稿にあたっての注意」に倫理規定を付け加えるとの改訂案が提出され、承認された。

(8) 各種委員会報告

1) 紀要編集委員会 報告

臼井嘉一委員長および的場正美副委員長より、『カリキュラム研究』（第 18 号）の目次原案について報告がなされた。

2) 国際交流委員会 報告

浅沼茂委員長より、国際カリキュラム学会（2009 年 9 月 7 日～9 月 10 日、於南アフリカ共和国）への参加案内があった。

3) 広報委員会 報告

村川雅弘委員長より、4 月からの新体制に向けての現状報告がなされた。

4) 研究委員会 報告

豊田ひさき委員長より、第 20 回大会における課題研究の内容・世話人の調整にあたっての旨の報告がなされた。

5) 研究奨励賞委員会 報告

臼井嘉一委員長より、研究奨励賞の選考状況について報告がなされた。また、若手の研究を奨励する趣旨について再度説明があった。

6) 20 周年記念事業実行委員会 報告

田中統治委員長より、20 周年記念事業実行委員として 7 名を指名し、国際シンポジウムの準備を進めている旨の報告がなされた。詳細は前述の通り。

(9) その他

1) 事務局より、東京学芸大学附属図書館からのリポジトリ承諾依頼について報告がなされた。

これに伴い、論文データのアーカイブ化・電子ジャーナル化に関する学会としての対応、および本学会における著作権ポリシーについての審議を代表理事が紀要編集委員会に諮問し、継続審議となった。

2) 事務局より、会員現況が報告された。会員総数 872 名（一般 732 名、学生 130 名、団体 10 件）。なお、連絡先不明者 18 名および会員資格停止者 84 名を含む。

3) 事務局より、寄贈図書について下記の通り報告された。

寄贈図書一覧（2008 年 11 月 1 日～2009 年 3 月 5 日 事務局到着分）

到着日付	書名	著者	出版社	奥付日付
20090305	子供の生活概念の再構成を促す カリキュラム開発論	大谷良光	学文社	2009 年 2 月 20 日

4) 代表理事より、次期大会開催校についての検討を理事に呼びかけた。

— 〈事務局からのお知らせ〉 —

(1) 平成 21 年度分会費納入のお願い

会計年度が変わります。平成 21 年度分の年会費の納入をお願い申し上げます。理事会で確認されております通り、「大会発表者は、原則として当該年度までの年会費を大会終了時までに納入のこと。」ですので、第 20 回大会での研究発表を予定されている会員は、とくにご注意ください。

本年度までの学会費未納の方は、宛名ラベルのお名前の下に、未納年度と「未納」の文字を記載しております（例 1：H20 未納 例 2：H18,19,20 未納）。同封の振込用紙をご利用になり、早期の納入をよろしくお願い致します。なお、宛名ラベルのお名前の下に「199X-00Y」とありますのは、「199X 年の Y 番目に入会した」という会員整理番号で、未納状況とは関係ありません。

会費を滞納しますと、学会誌が送付されなくなります。同時に、大会での発表資格・学会誌への投稿資格が停止されますので、くれぐれもご注意ください。

なお、事務処理上、納入時期とラベル記載情報との間に、若干の行き違いが生じる可能性があります。その際は何とぞご容赦ください。会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、遠慮なく事務局までお問い合わせください。

(年会費：一般 6,000 円、学生 3,000 円、団体 10,000 円)

(2) 住所変更等の届出について

異動の時期となりました。連絡先住所、ご所属等が変更になった場合、事務局までお知らせ願います。

(3) 学会事務局の移転について

すでにニューズレター第 48 号でご案内申し上げましたとおり、2009 年 1 月より学会事務局の業務は筑波大学より東北大学に移りました。新事務局の連絡先等は下記のとおりです。『カリキュラム研究』第 19 号（予定）への投稿論文についても、今後は下記の学会事務局までお送りいただくこととなります。

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院教育学研究科内

日本カリキュラム学会 事務局

FAX : 022-795-3755

振替口座番号 : 00990-0-69090

E-mail:jscs@nifty.com

学会 URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>